

# 平成30年度 事業報告

## I. 理事会・評議員会の開催状況

平成30年度 第1回評議員会

日時：平成30年5月24日（木） 13:30～14:15

場所：北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議題：1) 決議事項

第1号議案 辞任に伴う監事の選任（案）

第2号議案 その他

2) 報告事項

出席者：出席評議員 6名（現在数7名）

居林 次雄、川崎 一彦、近藤 征夫、内野 貢、山田 明、  
堀 達也

その他出席者

理事 村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事  
事務局 2名（稲垣勝一、和島美樹）

平成30年度 第1回理事会

日時：平成30年5月24日（木） 14:15～16:00

場所：北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議題：1) 審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度収支決算報告（案）

第3号議案 平成30年度事業計画（案）

第4号議案 平成30年度収支予算（案）

第5号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）

第6号議案 その他

2) 報告事項

出席者：出席理事 7名（現在数8名）

村松 宏一、杉野 秀雄、越前雅裕、坂本 和彦、杉本 拓、  
土居 博昭、永井 勝己 各理事

その他出席者

評議員 居林 次雄、川崎 一彦、内野 貢 各評議員

顧問 北海道 高橋はるみ知事の代理として

北海道総合政策部国際局 国際課国際交流室

室長 池田 和明氏 が代理出席

事務局 2名（稲垣勝一、和島美樹）

みなし決議に関する平成30年度 定時評議員会

日 時 : 平成30年6月20日

内 容 : 定款第22条に基づき、定時評議員会の目的である下記の議案について、評議員に書面による同意を求めたところ、評議員全員の同意を得たので、議案については、評議員会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 7名 同意数 7名

1、書面による同意を求めた内容

報告事項 平成29年度 事業報告

決議事項 平成29年度 収支決算(案)

1) 平成29年度 貸借対照表(案)の承認の件

2) 平成29年度 正味財産増減計算書(案)承認の件

平成30年度 第2回理事会

日 時 : 平成30年11月30日(木) 10:30~11:30

場 所 : 北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議 題 : 1) 審議事項

第1号議案 平成30年度上期事業報告

第2号議案 平成30年度上期収支報告

第3号議案 その他

1) 定款の改定(案)について

出席者 : 出席理事 6名(現在数8名)

村松 宏一、杉野 秀雄、坂本 和彦、杉本 拓、

土居 博昭、永井 勝己 各理事

出席監事 1名(現在数1名)

長野 実

事務局 2名(稲垣勝一、和島 美樹)

みなし決議に関する平成30年度 第3回理事会

日 時 : 平成31年2月18日

内 容 : 定款第40条に基づき、理事会の目的である下記の議案について、理事に書面による同意を求めたところ、理事全員の同意を得たので、議案については、理事会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 8名 同意数 8名

1、書面による同意を求めた内容

決議事項 定款の改定(案)

## II. 事業状況

### 1. 交流事業

#### ◆スウェーデン交流センター設立35周年記念事業に関する報告

今年度の主力事業として、1983年に「財団法人スウェーデン交流センター」として誕生した当財団の設立35周年を記念して、「35år（トレッティフェム・オール）－日瑞ガラス・木工作品展－」を中心とした、下記事業を実施した。

また、本事業は「日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念事業」および「北海道150事業」各事業への協賛事業として実施した。

- a.日瑞の工芸家による作品展（当別展、札幌展、東京展）
- b.設立35周年記念パーティー（札幌市内ホテル）
- c.来日する工芸家との交流イベント（SCFセンターホール、ガラス工房、木工房）
- d.スウェーデン画家による絵画展（SCFセンターホール）

本事業については、2016年より準備を行ってきたが、作品展等実施事業については、概ね高評価であったが、幾つか問題もあり次回以降に教訓して生かしたい。

- ・各種資料の作成、宣材作成、告知
- ・作家との連絡調整（作品、作家紹介、費用に関すること等の確認・調整）
- ・作家の来日に関する諸作業（航空券、宿泊、食事等の確認・手配）
- ・運搬に関する調整（スウェーデン国内外の輸送、輸入・通関、保険について等）
- ・会場に関する調整（展示方法、備品、展示台、について等）
- ・助成金の申請等に係る作業

「問題点」特に運搬に関することで、日本の運送会社とスウェーデンの運送会社との間で調整にかなり時間がかかり、作品は当初予定を大幅に遅れて到着した。これにより、当初「前後編」にて開催予定だった「当別展」は9月から1か月の1回の展示へと変更を余儀なくされたが、それ以降の「札幌展」「東京展」については影響なく、予定通りの日程で開催した。

また、作品の返送（輸出）についても輸入国（スウェーデン）でトラブルが発生し、国際輸送についての理解・確認不足と大いに反省している。

### 1) 展示会

#### (1) 「ダーラヘスト SCFコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラヘスト」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。（昨年度より引き続き展示）

日時：平成30年2月25日（土）～5月7日（月）

場所：スウェーデン交流センター センターホール 1F

来館者：980名

#### (2) 「ポスク」紹介コーナー

春の訪れのお祝いとしてスウェーデンの人々に親しまれている「ポスク（イースター）」の文化とその楽しみ方を紹介した。ポスクで飾るカラフルな羽や卵を中心とした装飾品を

展示した。(昨年度より引き続き展示)

日 時 : 平成30年3月17日(土)～4月30日(月)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール 1F

来館者 : 699名

(3) エストヨータテキスタイル作品展

「Fyra Årstider フィーラ・オーシュティードル(四季)」

スウェーデン中南部、エステルヨートランド県内のテキスタイルグループ「エストヨータテキスタイル」の作家9名による、インテリアやファッション等のテキスタイル作品を展示した。「日本・スウェーデン外交関係樹立150年記念事業」協賛企画。

環境負荷の少ない方法で生産された地元の素材を用いた、地域の自然にデザインインスピレーションを得た作品が多く出展され、それぞれの作家のこだわりが反映された展示内容であった。すべての展示品が即売できない予約注文品であったにもかかわらず、多くの予約をいただくなど、来館者にも好評をいただいた。(昨年度より引き続き展示)

日 時 : 平成30年3月24日(土)～5月7日(月)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール 2階

来館者 : 845名

(4) スウェーデンの地方紹介シリーズ⑦「エレブロー(Örebro)」

スウェーデンの地方や地域を紹介するシリーズ。今回は、スウェーデン中部に位置するエレブロー県をとりあげた。同県出身であるSCF職員のペール・ショーベリが担当し、日本ではなかなか情報の少ない地域の見どころをパネル等で紹介した。

日 時 : 平成30年5月27日(日)～8月26日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール 2階

来館者 : 6,190名

(5) スウェーデン交流センター設立35周年記念事業1

日本・スウェーデン外交関係樹立150年記念事業協賛

北海道150年事業協賛

「35år(トレッティフェム・オール)ー日瑞ガラス・木工作品展ー」

スウェーデン交流センター設立35周年を記念して、過去にSCFガラス・木工の各工房に招聘したインストラクター及び交流事業「アーティスト・イン・レジデンス」事業に参加したアーティスト、また当時の研修生で、現在もガラス、木工の分野で、作家として活動している日本人作家による合同展を開催した。

「当別展」「札幌展」「東京展」の3会場で開催し、「札幌展」「東京展」では初日オープニングセレモニーを行ったほか、作家との交流イベントも開催した。

優れた作品の数々を見てもらう機会というだけでなく、20年ぶり、30年ぶりの来訪となる海外作家が、当時親交のあった近隣住民との再会を果たしたり、歴代の作家同士が

工房で協働する姿を披露するなど、国際交流・異文化理解促進イベントとして意義深いものとなった。

本展および関連イベントは、「平成30年度地域づくり総合交付金」および一般財団法人自治総合センターの実施する「平成30年度コミュニティ助成事業」（宝くじ助成）の助成を受けて実施した。

#### <当別展>

日 時 : 平成30年9月1日(土)～9月30日(日)  
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール 1、2階  
来館者 : 464名(開館日数25日)

#### <札幌展>

日 時 : 平成30年10月13日(土)～11月30日(日)  
場 所 : 札幌芸術の森 工芸館(札幌市南区)  
来館者 : 6,641名(開館日数35日)  
\* 初日オープニングセレモニー(テープカット)開催 60名参加

#### <一般財団法人スウェーデン交流センター設立35周年記念祝賀会>

日 時 : 平成30年10月13日(土) 18:00～20:00  
場 所 : 京王プラザホテル札幌 雅の間  
参加者 : 90名

#### <「35år トレッティフェム・オール」交流イベント>

日 時 : 平成30年10月14日(日) 10:00～16:00

- ・アーティストトーク(画家 フムラン・ラング氏)
- ・「グラール・テクニク」デモンストレーション(ガラス オレ・ブローセン氏)
- ・「えんぴつを作ろう」ワークショップ(木工 カール＝マグヌス・パーション氏)
- ・アーティストトーク 3名  
エバ・フォン・バッケンフェルト氏(ガラス)  
ウルリカ・ブラット・リング氏(ガラス)  
ペール・ブランドステット氏(木工)

場 所 : SCFセンターホール、ガラス工房、木工房  
参加者 : 延べ119名

#### <東京展>

日 時 : 平成30年12月5日(水)～12月19日(水)  
場 所 : スウェーデン大使館内ベルイマン展示ホール(東京都港区六本木)  
来館者 : 約330名

\*オープニングレセプション 12月4日(火) 18:00~20:00 46名参加

(6) スウェーデン交流センター設立35周年記念事業2

「Integrity 独り立つ」フムラン・ランゲ絵画展

スウェーデン交流センター設立35周年を記念して、スウェーデン人画家フムラン・ランゲ氏の絵画作品展を開催した。夫であるカール・グスタフ・ヨンソン氏のSCF木工インストラクター就任に合わせて1997年から一年間滞在した同氏の、SCFでは2回目となる作品展。同氏の希望により、20年前の前回と同じタストルにて開催した。期間中には「アーティストトーク」も開催し、作品の背景や制作にかける思いなどを語っていただいた。

日時：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

場所：スウェーデン交流センター センターホール一階

来館者：594名(開館日数42日)

(7) 「ダーラヘスト SCFコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラヘスト」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。(2019年度へ引き続いて展示)

日時：平成31年1月31日(土)～3月末(4月14日(日) 予定)

場所：スウェーデン交流センター センターホール 1階

来館者：345名

2) イベント

(1) 第35回 夏至祭

夏の到来を祝うスウェーデンの「夏至祭」を開催した。協賛企画として、工房棟での体験教室(工房事業)およびガラス作品のアウトレット販売を行った。

※当別・レクサンド都市交流協会、当別町との共催

日時：平成30年6月17日(日) 10:00~15:00

場所：スウェーデン交流センター、スウェーデン公園、その他

来館者：3,500名(実行委員会発表)

(2) ザリガニパーティ

スウェーデンの夏の風物詩である、茹でザリガニを食べる会を開催した。今年は北海道内で獲れたザリガニを初めて用意して振舞ったところ、大変おいしいと参加者の好評を得た。コストの節減にもつながったことから、来年以降も同様に手配を試みる。

日時：平成30年8月19日(日) 12:00~14:00

場所：スウェーデン交流センター 中庭

参加者：41名

(3) スールストロミング試食会

「世界一くさい食品」とされるスウェーデンの珍味、スールストロミングを試食する会を今年も開催すべく準備・参加者募集をしていたが、9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、余震も頻繁に起きていたことから、参加者の安全を確保するため、中止した。

(4) 「クップ」普及への取り組み

深川市「まあぶキャンプフェスタ」イベントでのクップ（木の棒を投げ、的に当てるスウェーデン生まれのゲーム）体験コーナー設置に協力し、クップ用具の貸出しを行った。

日 時 : 平成30年6月9日（土）～6月10日（日）

場 所 : まあぶオートキャンプ場（北海道深川市）

貸出先 : 深川市役所農政課

参加者 : 18名

(5) ルシア祭

スウェーデンの冬を象徴する「ルシア」のお祝いをイベントとして開催した。

今回のルシア姫にはSCF職員ソフィアが扮し、地元スウェーデンヒルズの子どもたちとともに会場へ光を運び、スウェーデンの伝統行事を紹介した。

日 時 : 平成30年12月9日（土）13:00～17:00

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

来館者 : 80名

3) セミナー、講習会

(1) フィーカ

スウェーデンで親しまれている「フィーカ（お茶の時間）」の雰囲気をもとに、スウェーデンのあらゆることをテーマに「おしゃべりの時間」を提供した。2019年5月に実施予定の「2019年度 高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業」（主催：当別町）の事前研修として採用され、参加する高校生と随伴する町職員の情報収集の場としても活用していただいた。

日 時 : 平成30年 毎月第3土曜日 14:00～15:30 に開催

① 4月21日 ② 5月19日 ③ 6月16日 ④ 7月21日

⑤ 8月18日 ⑥ 9月15日 ⑦ 10月16日 ⑧ 11月21日

⑨ 12月15日 ⑩ 1月19日 ⑪ 2月17日 ⑫ 3月16日

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

参加者 : 43名

参加費 : 1回につき500円

## (2) スウェーデン語会話講座

初心者を対象としたスウェーデン語会話講座を開講した。「会話」を学習の中心に置いたが、単語の活用等文法にも触れる内容であったため、アンケートでは「やや難しかった」という意見もいただいた。来年度の参考にし、今後の計画を進める。

日 時 : 平成30年4月28日(土)より 全10回開講

①4月28日 ②5月12日 ③5月26日 ④6月2日 ⑤6月9日

⑥6月23日 ⑦6月30日 ⑧7月7日 ⑨7月14日 ⑩7月28日

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール2F

講 師 : ペール・ショーベリ (SCF職員)

参加者 : 延べ74名

参加費 : 1回につき500円

## (3) スウェーデン・セミナー

スウェーデンのさまざまな内容をテーマに、SCF職員がセミナー形式でお話した。各回ごとにテーマを決めて開催したが、参加者の興味にはばらつきがみられた。内容を検討しつつ、2019年度も継続して実施する。

日 時 : ① 8月25日「スウェーデン人の神話とルーン文字」

: ②10月27日「スウェーデン人と自然」

: ③ 1月26日「スウェーデンの民話」

: ④ 3月23日「スウェーデンのライフスタイル」

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール2F

参加者 : 延べ25人

参加費 : 1回につき500円

## 4) アーティスト・イン・レジデンス

スウェーデンの優れたハンドクラフト作家を短期滞在で招聘するプログラム。

経費の面から、「トレッティフェム・オール」事業で来日するガラス作家との調整を試みたが、日程に折り合いがつかず、今年の実現できなかった。

## 5) 人的交流支援

### (1) レクサンド高校生日本語クラス生徒の日本研修受け入れ支援

本企画は従来の方法(当別高校)ではない新たな体制(当別町)での実施になったため、本年度はSCFへの受け入れ協力依頼はなかった。プログラム中のSCF訪問時には、財団の活動や施設の目的、意義などをSCF職員によるスウェーデン語の通訳を交えて説明を行った。

日 時 : 平成30年5月30日(水) 高校生2名来館(当別町職員2名随行)



(2) レクサンド高校生木工科生徒の職業実習受け入れ支援

毎年秋に日本でのインターンシップを行っているレクサンド高校からの要請により、今年も各所との諸連絡を行っていたが、生徒の派遣中止により実習は行われなかった。

6) その他（後援事業）

① 第13回 北欧に学ぶ創造性教育ワークショップ

「Kahoot!で質問を作って試してみよう」協賛

日時：平成30年5月26日（土）13:00～17:00  
会場：札幌カフェ 5F（札幌市北区）  
主催：Office KAWASAKI  
協賛：一般財団法人スウェーデン交流センター  
内容：2013年から続くシリーズの第13回目。今回はノルウェー発祥の学習用プラットフォーム「Kahoot!（カフート）」を使って質問を作り、試してみるワークショップに協賛した。

② 「サッポロ・シティ・ジャズ2018」後援

日時：①平成30年 7月14日（土）～22日（日）  
②平成30年12月16日（日）～22日（土）  
会場：札幌市内各所  
主催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会  
内容：札幌の音楽イベントとして定着しており、スウェーデンほか各国からの参加者も多いジャズフェスティバルに協賛した。

③ 「新たな魅力を発見！スウェーデンフェア」への協力

日時：平成30年 7月14日（土）～29日（日）  
会場：スウェーデンハウス森林公園モデルハウス（札幌市厚別区）  
主催：スウェーデンハウス株式会社 北海道支社  
内容：日瑞外交関係樹立150年に伴い、全国のモデルハウスで様々なイベントにおいて、当財団ガラス工房および木工房の紹介を森林公園モデルハウスでの作品展示によって行いたいとの依頼を受け協力した。

④ 「スウェーデン芸術祭 IN 小樽 2018」後援

日時：平成30年 7月21日（土）～9月16日（日）  
会場：市立小樽美術館及び近隣のインスタレーション展示  
主催：スウェーデン芸術祭 IN 小樽 2018 実行委員会  
内容：スウェーデンのアーティストを小樽に迎え、現代アートの展覧会を開催するとともに、市民や観光客が国際的な芸術に触れ、作家との交流も楽しめるアートイベントに協賛した。

⑤ 「スウェーデン児童文学・絵本展」への協力

日時：平成30年 7月21日(土)～9月17日(月)  
会場：市立小樽文学館展示室(入場無料スペース)  
主催：市立小樽文学館(小樽市色内)  
内容：国交150周年を記念し、日本の子どもたちにも親しまれているスウェーデン児童文学・絵本を、古典から現代まで紹介する展示企画に協力し、SCF図書コーナーに蔵書の日・瑞・英の書籍24冊を貸出しした。あわせて、主催者の依頼にこたえてスウェーデン輸入雑貨の商品委託を行い、来館者へ販売していただいた。

⑥ 「札幌ジュニアジャズスクール」への協力

日時：平成30年 7月21日(土)  
会場：札幌芸術の森アートホール大練習室(札幌市南区)  
主催：芸術の森事業部事業課  
内容：「サッポロ・シティ・ジャズ」関連企画「ストックホルムジャズオーケストラクインテット」ワークショップの通訳(瑞>日)として、SCF職員を派遣した。

⑦ 「当別スウェーデンマラソン」への協力

日時：平成30年 8月5日(日)  
会場：スウェーデン交流センター、およびスウェーデンヒルズ周辺  
主催：当別スウェーデンマラソン実行委員会  
内容：今年が初開催となるマラソン大会への協力を行った。スウェーデン交流センター中庭および駐車場がランナーの待機場所として設定されたほかスウェーデン人ランナーおよび実行委員会事務局へのサポート等を行った  
参加者：1373名

⑧ 「当別アートフェス2018」への協力

日時：平成30年 9月8日(土)～9月30日(日)  
会場：当別町内各所  
主催：特定非営利活動法人ゆめの種トープ  
内容：当別町内で創作活動を行うアーティストの工房を市民が訪ね、展示を見たりワークショップに参加するなど交流を目的とするイベントに協力した。

⑨ 「ダーラナシンフォニエッタ日本公演」への協賛、サポート

日 時 : 平成30年 9月18日(火)～9月25日(火)

会 場 : Kitara 大ホール・小ホール、札幌市男女共同参画センター、  
西当別小学校、北海道当別高等学校 ほか

主 催 : ダーラナシンフォニエッタ招聘実行委員会

内 容 : スウェーデン・ダーラナ県内のオーケストラ「ダーラナシンフォニエッタ」からの要請受け、HIECC、札幌国際プラザ、札幌シンフォニエッタ、SCFの4団体で実行委員会を結成し、スウェーデンでの事前調整や日本国内各所での公演実現のサポートを行った。北海道内での公演に関して、SCF職員を派遣し、団員の活動のためのアテンドや通訳等の業務を担当するなど実行委員会事務局としてイベントの実現に尽力した。

また、東京公演に際しても、公演開催の調整、通訳として協力した。

⑩ 「西当別中学生 職業体験学習」への協力

日 時 : 平成30年10月24日(水)、25(木)

会 場 : スウェーデン交流センター センターホール

主 催 : 当別町教育委員会

内 容 : 当別町内の中学校2学年の生徒(1名)の職業体験学習受け入れに協力し、主に交流事業スタッフの業務内容を体験してもらった。

⑪ 「第37回あそ雪の広場」後援

日 時 : 平成31年2月9日(土)、10(日)

会 場 : 阿蘇公園(石狩郡当別町元町)

主 催 : あそ雪の広場実行委員会

内 容 : 毎年恒例になっている当別町内の冬のイベント対し、名義後援した。

⑫ 「当別町的アウトドアイベント トペル」への協力

日 時 : 平成31年3月9日(土)

会 場 : 北欧の風 道の駅とうべつ(石狩郡当別町当別太)

主 催 : トペル実行委員会

内 容 : 「スウェーデンの文化紹介をしてほしい」という要請によりスウェーデンの冬のスポーツやアウトドア活動についてのパネル展示とSCFの活動紹介、スウェーデンの雑貨の販売を行った。

## 2. 広報事業

### 1) 広報誌「ビョルク」の発行

「ビョルク」138号 4月 1日発行 2,500部

「ビヨルク」139号 7月10日発行 2,500部

「ビヨルク」140・141合併号 1月1日 2,500部

## 2) スウェーデン交流センターのホームページ・フェイスブックの随時更新

- ① フェイスブックを利用しタイムリーな情報の掲載・イベントの告知・報告を行った。
- ② ホームページを整備し、イベント情報・活動報告等を随時公開した。
- ③ 若者を中心に人気のある「インスタグラム(写真共有サービス)」、「ツイッター(短文投稿サービス)」のアカウントを新設し、イベントの告知を中心に随時更新・公開した。

## 3) マスメディア・取材対応

- ① 札幌テレビ放送 (STV) 「ジョシスタ あいく的」  
木材工芸工房およびセンターホールショップ取材 (島田晶夫氏協力)  
9月3日 (月) オンエア
- ② 「スロウな旅北海道」(雑誌) 車で旅する西北海道・石狩エリア編  
内観・外観・展示物撮影 2019年4月発行予定
- ③ 「けいざいナビ」(テレビ北海道)  
北海道内で周年記念を迎えた企業等の特集 11月3日オンエア
- ④ 「LOVE HOKKAIDO」(北海道テレビ放送) 札幌日帰り冬満喫編  
館内見学および木工房での制作体験(島田晶夫氏協力) 3月9日オンエア
- ⑤ 「巷のonちゃん」(北海道テレビ放送) 当別編  
外観・内観・展示物撮影 3月14日オンエア

## 4) 資料の整備

図書コーナーを整備し、来館者への貸出や閲覧スペースの提供を行った。

- ① 図書コーナー充実のため、次の3冊の書籍をご寄贈頂いた。

株式会社キャラミ 「CARING ケアリング No.20」

著者 「SÅ LÅNGT BORT OCH SÅ NÄRA」八幡敬子 他著

岩波書店 リンドグリーン・コレクション「長くつ下のピッピ」菱木晃子 訳

岩波書店 リンドグリーン・コレクション「ピッピ 船にのる」菱木晃子 訳

岩波書店 リンドグリーン・コレクション「ピッピ 南の島へ」菱木晃子 訳

雷鳥社 「北欧の小さな大国 スウェーデンの魅力150」 西田孝広

新評論 「『ニルスの不思議な旅』と日本人」村上朝子

白水社 「ニューエクスプレス+ (プラス) スウェーデン語」 速水 望

- ② 図書コーナー充実のため、次の2冊の書籍を購入した。

東京国立近代美術館 「インゲヤード・ローマン展」図録

東京美術 「カール・ラーション スウェーデンの暮らしを芸術に変えた画家」

### 3. 工房事業

#### 1) ガラス作品展

昨年同様、ガラス工芸工房の職員による外部での作品展を実施した。

「甲斐裕士 Glass Works」

期 間 : 平成30年7月2日(月)～7月14日(土)

会 場 : 手風琴(札幌市北区あいの里)

出展作家: 甲斐裕士(SCF職員)

入場料 : 無料

#### 2) 体験学習

##### (1) 吹きガラス制作体験教室(講師:甲斐裕士)

宙吹きによるオリジナルのガラス作品制作体験。

日 時 : 毎月第2・4土曜日(原則/予約制)

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

参加費 : 2,000円(送料は参加者負担にて別途)

回 数 : 16回

参加者 : 30名

##### (2) 木工教室(講師:島田晶夫/デザインスタジオ・島田)

家具や小物などの制作講習会。テーマは受講者と個別に相談して決定する。

日 時 : 毎月第4日曜日(原則/予約制)※現在は満席のため新規受付なし

場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

回 数 : 22回

参加者 : 94名

##### (3) 夏至祭協賛企画としての制作体験教室の実施

###### \*木工制作体験

日 時 : 平成30年6月17日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

参加者 : 5名

参加費 : 1,500円

###### \*吹きガラス体験

日 時 : 平成30年6月17日(日)

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

参加者 : 7名

参加費 : 1,500円(作品郵送料は別途)

#### 4. 販売事業

##### 1) ガラス工房、木工房の作品の販売

当工房で制作されたガラス作品、木工作品の展示販売を行った。2015年度より当別町の「ふるさと納税」の記念品のひとつに取り上げられているガラス作品については、今年度からガラス作品2アイテム(20,000円と30,000円の返礼品)と300,000円の返礼品としてダーラヘストを加え、増販を期し、予算より増となった。(予算525千円⇒700千円 125千円の増)

スウェーデンハウスの竣工祝い品は496口の予算に対して、実績427口と69口減、(△966,000円)となり、また、道の駅等の委託販売の増販を期待していたが、大きく予算と乖離し、予算対比1710千円の減収となった。

##### 2) 輸入雑貨の販売

スウェーデンの民芸品であるダーラヘスト、その他スウェーデン雑貨の輸入販売を行った。雑貨においても、スウェーデンハウス竣工記念品がヘスト491口の予算に対して434口と57口減(△1,075,020円減)により大幅な予算未達となった。また、道の駅等での委託販売の増販を予定していたが予算に対し381,000円減収となり、雑貨・その他も予算対比1847千円の大幅減収となった。

#### 2018年度 販売実績(4月～3月)

内 容	前年実績	今期予算	今期実績	予算対比
<b>ガラス作品収入</b>				
関連売上	8,026,995	7,863,000	7,505,200	-357,800
一般売上	780,379	1,519,000	837,780	-681,220
<b>センター売上小計</b>	<b>8,807,374</b>	<b>9,382,000</b>	<b>8,342,980</b>	-1039,020
委託販売	998,792	886,000	224,011	-661,989
<b>ガラス作品収入計</b>	<b>9,806,166</b>	<b>10,268,000</b>	<b>8,566,991</b>	<b>-1,701,009</b>
ガラス作品 工房分(継続事業)	7,354,625	7,701,000	6,425,243	-1,275,757
販売事業分	2,451,541	2,567,000	2,141,748	-425,252
<b>雑貨・その他収入</b>				
関連売上	9,778,721	9,929,000	8,770,780	-1,158,220
一般売上	2,270,313	1,611,000	1,303,813	-307,187
委託販売	1,008,796	1,090,000	708,528	-381,472
<b>雑貨・その他収入計</b>	<b>13,057,830</b>	<b>12,630,000</b>	<b>10,783,121</b>	<b>-1,846,879</b>
<b>販売事業売上合計</b>	<b>15,509,371</b>	<b>15,197,000</b>	<b>12,924,869</b>	<b>-2,272,131</b>

\*販売事業売上合計は「雑貨・その他収入」にガラス作品収入のうち「販売事業分」を合計した金額。

以上